

## 2016.6.18(土) 定例活動「間伐,自然観察」

◆参加者： 10名 ◆天候：晴れ

・ワーブ新道、スミレの道分岐点で幹周り 55~84 cmのスギ間伐 7本。

梅雨の晴れ間の活動日となり、気温は 30℃近くになるとの予報で、熱中症に注意しながら山に入る。森の木々の間から光りが差しこむ。リンドウ坂とスミレの道の分岐点で小休止していると 何やら毛布のようなものが----と見ていると、小動物が-----コジカ？ ニホンジカが寝そべっている。 Mさん近づきすぎてコジカは一目散に山を下って行ってしまいました。体長は 70 cmぐらいか。



ニホンジカ

間伐の現場で昨年取付けた 2 個の巣箱の使用状況調査と清掃。

一つは空っぽ。 もう一つは産卵の準備したようだが、使った形跡は無かった。

早速、最初の間伐作業に入る。しなやかにロープ上げ。



動滑車と固定滑車（ダブル）を使い伐倒のための引く力を2倍にした。



また、Tさんが持参した「荷締用ラチェットベルト」等を使用し2～3人で間伐できそうな方法も体験した。

最後の7本目の伐倒は、伐倒方向を決めるのに時間がかかったが、枝掛かりも無く、教科書通りに”ツル”も残り処理した。(本日は7本全て枝掛かりは無かった)



↑アカショウマ

下界は30℃、山の中は26℃。

間伐班は14:40解散しました。お疲れさまでした。

【記録： SI】